



生徒10力条 その④



『日頃の身だしなみ、服装を正しく』

今回は生徒10力条の4番目、「日頃の身だしなみ、服装を正しく」

について考えていきたいと思います。みんなはなぜ身だしなみを整えないといけないと思いますか？いろいろな考え方があるかと思いますが、一つは清潔感のある人は好感が持たれるということです。何よりもその姿に努力を感じができるからです。きちんと努力できる人。その認識が好感度となるのです。身だしなみが重視されるのはこの好感を持たれるか、もたれないかが第一印象の一瞬で決まってしまうからです。社会人になると「第一印象を大切に。」と言われます。では、第一印象とはどんなものだと思いますか。第一印象とは、見た目や話し方、身振りなどを総合的に判断して形作られるものだと言われ、その中で最も服装や身だしなみ等の外見の要素が大きいと言われます。そして、**第一印象は出会ってから数秒から数十秒で決まる**とも言われています。

服装・身だしなみを整えるというと、おしゃれな服を着ればよいと考える人がいるかもしれません、身だしなみとおしゃれは全く違うものです。おしゃれは、自分が楽しむために流行を取り入れたり、自分をアピールしたりするのですが、**身だしなみは相手に不快感を与えないために服装を整えること**なのです。3年生は、数か月後の受験の際に面接試験を経験することになります。面接官は、まず受験生が部屋に入って席に着くまで服装がしっかりと整っているかを確認します。特に高校入試の面接時間はそれほど長くないので、身だしなみは受験生を判断する大きなポイントの一つで、服装・身だしなみで中学生らしさや清潔感をアピールすることが大切なことです。このように社会においてもまず第一印象で好感を持たれる事は何より重要なのです。身だしなみとは相手が不快に感じないように配慮し、信頼を得るような姿になることです。清潔感があり、控え目で相手を立てる誠意のある姿になる事、そして立場や役割に応じたその場に相応しい姿になる事。自分の身体をそうした姿に整えていくことが身だしなみです。逆におしゃれは個性を楽しむものです。やっていて楽しい！見ていて楽しい！それがおしゃれ。自分の好きなもの、好きな素材、好きなファッション系統を選び、組み合わせ、自分だけのスタイルを作っていく。おしゃれは自分らしさをアピールできるいわば個人の表現力のことなのです。

身だしなみは他者の評価が基準になっていましたが、おしゃれの基準は自己評価です。つまり好きなようにできるのがおしゃれなのです。そういうことから服装のことが校則になるのは、学校という社会の中で自分本位にならずに他者と協調してまじめな生活を送ってほしいという理由があります。またそれに関連して、生徒が校則を守ることは、社会に出てから**様々な集団の中でルールを守れる大人**になる練習であるとも考えられます。校則は、みんなの将来のためにあることを覚えておいてください。